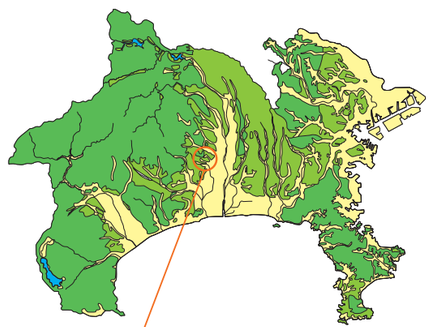
考古学財団
公益財団法人かながわ考古学財団情報誌
考古学財団 発掘帖（はっくつちょう）
No. 42
2024（令和 6）年第 2 号

伊勢原市 西富岡（にしとみおか）・長竹（ながたけ）遺跡

四〇〇〇年以上前の縄文時代集落

縄文時代調査区全景（東から）

J1 号住居（西から）


西富岡・長竹遺跡

西富岡・長竹遺跡は渋田（しぶた）川とその支流に挟まれたやせ尾根（おね）状台地に位置しています。これまで本遺跡では縄文（じょうもん）時代の竪穴住居跡（たてあなじゅうきょあと）は確認されていませんでしたが、昨年度実施した調査によって、竪穴住居跡が２軒発見されました。今年度の調査では、20 軒以上の竪穴住居が確認され、集落が営まれていたと考えられます。これらの竪穴住居跡から出土する土器は縄文時代中期後半の曽利（そり）式が多く、集落もこの時期のものと想定しています。

発見された竪穴住居の規模は、直径約８ｍを測る大きな住居跡から、直径約 4.5 ｍの小さな住居跡までと様々です。炉は床面を掘り窪（くぼ）めた地床炉（じしょうろ）や、炉の縁辺に石を配置した石囲炉（いしがこいろ）などの形態が見られます。また、埋甕（うめがめ）を伴う住居も確認されました。Ｊ１号住居からは２基の埋甕が確認されており、住居の拡張が行われたと考えています。

次ページに続きます

野庭出土品整理室より、整理作業を終えた伊勢原市上粕屋・石倉中遺跡から出土した縄文時代前期末～中期初頭の石製品についてご紹介

※調査の内容は発掘時点の成果であり、調査の進展及び出土品整理作業において、名称や評価を変更する場合があります。

行事案内

寒川町遺跡発掘発表・講演会　寒川町共催事業　申込有

奈良・平安時代や縄文時代を中心に寒川町の調査成果や文化財について講演会を行います
日時：2024 年 11 月２日（土）
会場：寒川町南部公民館　　寒川町一之宮 8-5-20
アクセス：寒川駅より徒歩 15 分
申込先：寒川町教育委員会

神崎遺跡まつり　綾瀬市共催事業　一部申込有

遺跡見学会や講座、体験コーナーなどをとおして、神崎遺跡や弥生時代について学びます
日時：2024 年 11 月２日（土）
会場：神崎遺跡資料館・神崎遺跡公園　　綾瀬市吉岡 3425-5
アクセス：綾瀬市役所・海老名駅・長後駅よりバス 20 ～ 25 分、圏央道海老名 IC より車 15 分
申込先：綾瀬市生涯学習課

推し遺跡パネル展　わが街の推し遺跡！～聞いて！みて！こんなにすんごい私たちの街の歴史～

県内市町文化財担当者が選んだ推し遺跡を紹介します　※遺物展示は海老名会場のみ
海老名会場
日時：2024 年 11 月６日（水）～ 18 日（月）
会場：ロマンスカーミュージアム（要入館料・火曜休館）　　海老名市めぐみ町 1-3
アクセス：小田急線海老名駅隣接

講演会・遺物展示会　大磯町共催事業

縄文時代後期の配石遺構をテーマに講演会と遺物展示会を行います
日時：講演会　　2025 年１月 26 日（日）
　　遺物展示会　2025 年１月 18 日（土）～２月２日（日）
会場：大磯町郷土資料館（毎月１日・月曜休館）　　大磯町西小磯 446-1（大磯城山公園内）
アクセス：大磯駅よりバス 12 分、大磯西 IC・大磯 IC より車３～７分

公開セミナー　東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業

縄文時代後期の集落をテーマに講演会を行います
日時：2025 年月２月１日（土）
会場：県民共済 みらいホール　　横浜市中区桜木町 1-1-8-2 県民共済プラザビル１階
アクセス：桜木町駅徒歩３分、みなとみらい駅徒歩 10 分

各行事の詳細は財団ＨＰ等をご確認ください。

お問い合わせ
（公財）かながわ考古学財団
〒 232 － 0033　横浜市南区中村町 3-191-1
TEL：045-252-8689　FAX：045-261-8162
E-mail：fukyu@kaf.or.jp

HP　Facebook　X（Twitter）

発掘帖バックナンバーはホームページからダウンロードできます。

考古学財団発掘帖
No. 42　2024（令和 6）年第 2 号
令和 6 年 10 月発行
編集・発行：（公財）かながわ考古学財団
〒 232- 0033　横浜市南区中村町 3-191-1
TEL：045-252-8689　FAX：045-261-8162
HP：https://kaf.or.jp

上粕屋・石倉中遺跡の縄文時代前期末～中期初頭の石製品

▲ 異形石器

まるで「いかり」のような形をしています。大きさは長さ3.3㎝、幅3.7㎝、厚さ0.4㎝の小さな石器です。どのようにして使ったのかはよくわかりません。細粒凝灰岩製ですが、地元の石材ではなく、どこか離れた地域で製作されたものと考えられます。

両頭石斧 ▶

両頭石斧は細長い身の両端に刃をつけた特殊な石斧です。長さ7.9㎝、幅2.1㎝、厚さ0.9㎝あり、細長く小形で、刃は鋭く研ぎだされていますが、刃こぼれなど使用した痕跡は認められません。実用品ではなく、まつりや儀式に使われる道具だったと考えられます。新潟県糸魚川産の透閃石岩製で、遠くから運び込まれた宝物のような扱いだったかもしれません。

◀ 斧形垂飾

写真の下端を刃とする斧型の石製品に穴をあけ垂れ飾りとしたものです。穴にひもを通し、ペンダントや額飾りとして使用されたものと思われます。曹長岩製で、やはり新潟県糸魚川方面の石材である可能性が考えられます。

縦に長い玦状耳飾が折れて半分になったものです。折れる前は長さ6㎝、幅6.5㎝ほどの大きな耳飾でした。新潟県糸魚川産の透閃石岩製です。

▼ 玦状耳飾

▲ 玦状耳飾

古代中国の玉器、玦と似た形状からこう呼ばれます。石材に穴をあけ、穴に向かい切り込みを入れます。写真のものは穴のところで割れたものを垂れ飾りに作り直しています。新潟県糸魚川産の透閃石岩製です。

玦状耳飾が折れて半分になったものです。ここに掲げた二つは同一石材・同一形状です。一つの耳飾が折れた可能性も考えましたが、穴と抉り込みの位置が微妙に異なることから、左右一対の耳飾りが、それぞれ折れて半分になったものと考えました。どちらも穴をあけて垂れ飾りに作り直しています。新潟県糸魚川産と考えられる滑石製です。

▼ 玦状耳飾

0　3cm

神奈川県教育委員会所蔵

左頁に掲載したのは伊勢原市上粕屋・石倉中遺跡から出土した縄文時代前期末～中期初頭（およそ 5,000 年前）の石製品です。中には石斧などの実用品に近い形態のものもありますが、どれも実用的な石器ではなく、儀式や「まつり」の道具や装身具として使用されたものです。これらの石製品には、新潟県糸魚川周辺で算出する透閃石岩や曹長岩・滑石といった遠隔地でとれる希少な石材が使用されています。あるいは製品自体が、遠隔地で作られたものかもしれません。

遠くの地域との交流が盛んになるのは、この時期の大きな特徴で、例えば、鎌倉市の東正院遺跡では同じ時代の竪穴住居跡から北海道産の緑色岩（アオトラ石）製の磨製石斧が発見されています。また、遺跡から出土する土器にも、北陸地方や東北地方など遠くの地方からの影響が見て取れます。左に掲げた両頭石斧や垂飾・玦状耳飾なども、こうした遠方の土地と遺跡に暮らした人々との係り合いの中で、この地にもたらされたものと考えられます。

上粕屋・石倉中遺跡

住所　伊勢原市上粕屋石倉中 1493－２外
調査期間　2013 年９月 16 日～ 2016 年３月 15 日
2021 年４月１日～ 2021 年 10 月 15 日
整理期間　2021 年２月１日～ 2024 年９月 30 日
立地　台地（河岸段丘）
主な時代　旧石器時代、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代、中世、近世

発掘調査報告書は来年度刊行予定

野庭出土品整理室

住所　横浜市港南区野庭町 1660
アクセス　上永谷・港南台・上大岡・洋光台などの各駅で乗換、横浜市営バス 45・51・112 系統すずかけ通徒歩２分

発掘調査で出土した遺物を整理し、調査報告書刊行に向けた作業を行っています。現在は、上粕屋・石倉中遺跡をはじめとして、伊勢原市、秦野市、厚木市、綾瀬市内の遺跡などを中心に実施しています。（通常、一般公開はしていません。）